

令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和 6 年 12 月
海老名市立今泉小学校

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことはよくできています。【言葉の使い方】
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることはできています。【書くこと】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことはできています。【言葉の使い方】
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることはできています。【言葉の使い方】
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることはできています。【読むこと】

◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、事実と自分の考えとを区別して文章を書いたり、自分の考えの理由を明確にして文章を書いたりするなど、自分の考えを分かりやすく伝わるように文章を書くことに課題がありました。【書くこと】

今後の具体的な指導改善のポイント

◆文章を書くときには、自分の考えが伝わるように書き表し方の指導を工夫します。

- ①「事実」と「考え」とを区別して（「事実」と「考え」を混同して書いていないか）書き表すように指導します。
「事実」…実際に起きたこと、だれが見ても明らかなこと
「考え」…その人が考えたことや創造していること、人によって違うこと
→「事実」が「考え」を裏付けるものになっているかどうかを確認します。
- ②「思ったこと（考えたこと）」と「その理由」を書き分けるように指導します。
「なぜかという」と「その理由は」や「～からです」など、思考そのものに関わる語句を例示し、自分の考えとその根拠を明確にします。

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことはよくできています。【図形】
- 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することはよくできています。【データの活用】
- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解はよくできています。【図形】
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することはよくできています。【変化と関係】
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することはよくできています。【データの活用】
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解はよくできています。【数と計算】
- 除数が小数である場合の除法の計算をすることはよくできています。【数と計算】
- 速さの意味についての理解はよくできています。【変化と関係】
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することはよくできています。【データの活用】
- 直方体の見取図について理解し、かくことはよくできています。【図形】
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することはよくできています。【数と計算】

◆課題のある点

- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることに課題がありました。【データの活用】

今後の具体的な指導改善のポイント

◆基礎・基本となる知識および技能を確実に習得できるよう指導を工夫します。

- 例として、今回の調査問題で誤答が多かった円グラフの目盛りを数えるときには、目盛りを1%ずつ数えていく方法や、5%または10%ずつの目盛りを先に数えてから1%ずつの目盛りを数える方法、項目と項目の区切りの数値を読み取って計算する方法などを使い分けながら、割合を読み取ることができるように指導します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+16.5)
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。→(「3時間以上」と回答した割合…全国比+15.9)
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+15.1)
- 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。
→(「家で勉強や読書をしている」と回答した割合…全国比+11.9)
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+11.7)
- 英語の勉強は好きですか。→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+10.3)

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の解答時間は十分でしたか。→(「時間が余った」と回答した割合…全国比-5.0)
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。→(「できている」と回答した割合…全国比-1.2)

生活について

◆本校のよかったところ

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+8.2)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+7.0)
- 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。
→(「家族と過ごしている」と回答した割合…全国比+6.0)
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
→(「よくある」と回答した割合…全国比+5.2)

◆本校の課題と思われるところ

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
→(「当てはまる」と回答した割合…全国比-10.1) ※「どちらかといえば当てはまる」を合わせると全国と同程度。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。→(「している」と回答した割合…全国比-9.1)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。→(「している」と回答した割合…全国比-7.6)

今後の具体的な取組について

- 日常の授業等において、自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でICT機器をさらに活用し、自ら課題解決に取り組む学習活動をすすめていきます。
- いじめを許さない学校づくり、学級づくりをすすめます。児童一人ひとりを大切にする人権教育の基盤に立って、多様性を尊重し、お互いを思いやり、人権を大切にする指導を、道徳科や体験活動、学級会での話し合い等での充実を図ります。

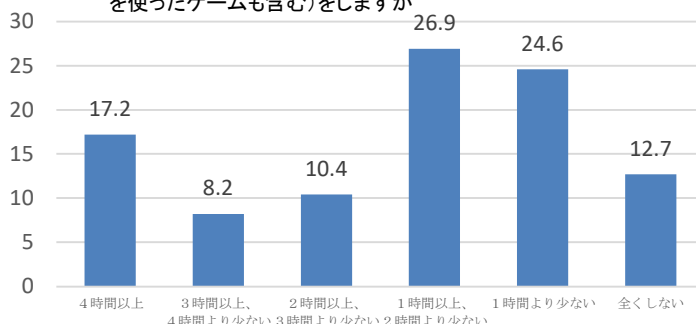
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 ゲームは時間を決めてやりましょう

ゲームをやるときは、ゲームの「終わりの時刻」を決めるようにして、適度に楽しむようにしましょう。特に、夜間に長時間ゲームをすることによって、睡眠時間が短くなり、生活リズムが崩れる可能性もありますので注意しましょう。

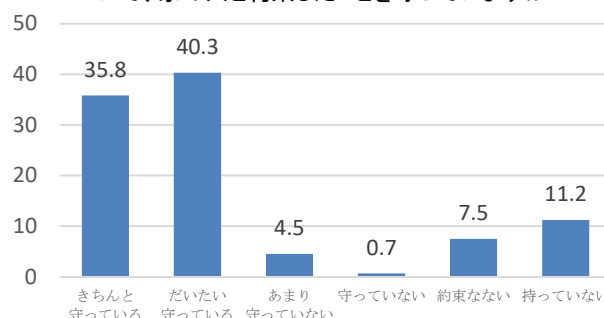
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



2 スマホの使い方を話し合いましょう

スマホを通じていじめや誹謗中傷につながるケースや、写真の投稿から犯罪に巻き込まれるケースなどのトラブルは実際に起こっています。スマホの安全な使い方を教えたり、フィルタリングを設定したりするなどの対策を行いましょう。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

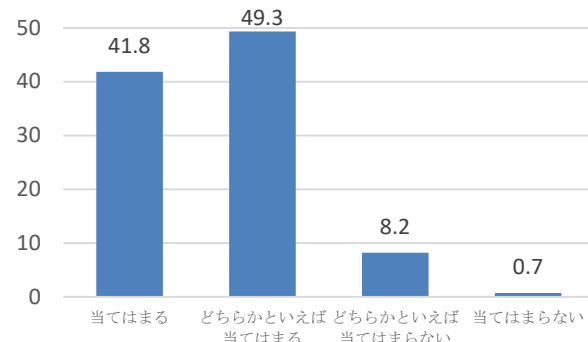


3 みんなで支え合いましょう

これからは多様性の時代です。多様な人たちを認め合い、助け合いながら共生社会を形成していくことが大切です。

困っている人がいたら進んで助けてあげましょう。みんなで支え合いながら生活していきましょう。

人が困っているときは、進んで助けていますか

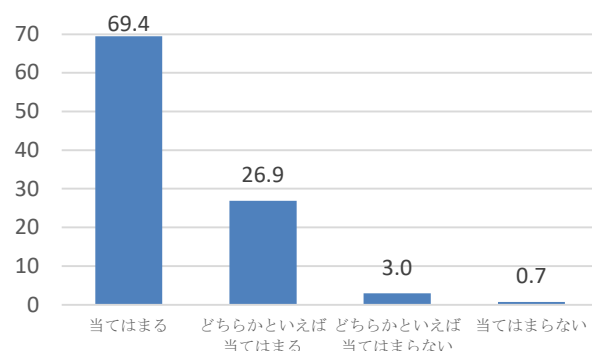


4 いじめを防止しましょう

ネットいじめやLINE いじめなど、いじめの内容は複雑化しています。

いじめは、いじめられる方が悪いのではないということや、周りと違うからといって攻撃してよいということはありません。お互いを認め合う気持ちを育てていきましょう。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919